

[ホームに戻る](#)[過去の](#)[「NEW」](#)[ピースデポとは](#)[核兵器・核実験](#)[モニター](#)[出版物](#)[資料](#)[メディアに登場](#)[したピースデポ](#)[テーマ別](#)[リンク](#)[事務所地図](#)[個人情報保護方針](#)[Korean](#)[English](#)[米国公文書](#)[国連文書](#)[新アジェンダ](#)[日本政府・自治体](#)[ライブラリ](#)[「ガイドライン法案」
速報](#)[印パ速報](#)[その他](#)[「資料」の目次](#)[ホームに戻る](#)

■ インド・パキスタンの核実験をめぐる一次情報と分析 を発信する『印パ速報』

(8月17日号で第一期終了)

インドとパキスタンの核実験は、今後の核軍縮、ひいては国際政治に深刻な影響をもたらしました。国内・海外のマスメディアやインターネットに、さまざまな関連情報が大量に流れ、これらの正確な伝達と的確な分析が緊急の課題となりました。そこで、ピースデポは、市民、研究者、ジャーナリストの皆さんを対象に、核軍縮問題を中心にし

た印パ関連情報とその分析を、『ピースデポ・印パ速報』という形で提供していく事業に、緊急に取り組みました。

- 1号につきA4版3ページ前後の、重要な原資料の邦訳を含む情報に富んだレポート。
- 申し込まれた方に、ファックスまたは電子メールで送付。
- 必要なときには毎日、動きの緩やかなときには週2回くらいのペースで発行。
- 次のような内容をカバー。（5月11日以後の情報の整理も含む。）

核不拡散条約（NPT）体制の行方／世界的核軍縮の行方（核保有五大国の動向、非核兵器国の新提案、NGOの動向など）／朝鮮半島問題への波及／日本政府・各政党の動向／印パの核兵器開発の科学・技術的分析／印パ核実験の環境・健康への影響／印パ国内の実験反対勢力／カシミール問題など
地域紛争問題／その他

『印パ速報』第1期は、第1号（7月6日）から第9号（8月17日発行）で終了しました。読者の方々、カンパを寄せていただいた方々に心から感謝いたします。今後印パ関連の情報は本モニター誌上でフォローするとともに、『速報』再開のときは、本誌上でご案内します。

- [第1号（7月6日）](#) – 米中首脳会談とインド政府の反応
- [第2号（7月8日）](#) – インド国内での核実験への抗議の声
- [第3号（7月11日）](#) – パキスタン、CTBTに署名の意向

- [第4号（7月16日）](#) – 南アジアの平和・核軍縮にかかわるNGOコンタクト先（1）
- [第5号（7月22日）](#) – 南アジアの平和・核軍縮にかかわるNGOコンタクト先（2）
- [第6号（7月28日）](#) – ギャップは埋まらなかった米印会談
- [第7号（8月4日）](#) – ASEAN地域フォーラム（ARF）に合わせたNGOマニラ会議
- [第8号（8月11日）](#) – インド政府、核ドクトリンを発表
- [第9号（8月17日）](#) – インドが強力なミサイルの開発を開始

▲ [ページの先頭に戻る](#)

● **各号の内容**

◆ [第1号（7月6日）](#)

- 米中首脳会談とインド政府の反応
- 印パは核兵器技術をどこからえたか？
- ◆ 資料（1）パキスタン・シャリフ首相の声明（全文、5月28日）
- ◆ 資料（2）印パの核開発への外国からの技術移転（表）

◆ [第2号（7月8日）](#)

- インド国内での核実験への抗議の声

- 日本の政党の核政策は（主要政党ごとにまとめ）

- ◆資料 インド核実験に反対するインド科学者の抗議声明（全文、5月）

- ◆第3号（7月11日）

- パキスタン、CTBTに署名の意向

- パキスタン・ラホールでの平和集会

- 日本のヒバクシャ、インド・ポカランとケトライ村訪問

- 国連安保理に対する印パの反論

- ◆資料 国連安保理決議に対するインド首相の声明（抜粋、6月8日）

- ◆第4号（7月16日）

- 南アジアの平和・核軍縮にかかわるNGOコンタクト先（1）

- 印パ核実験をめぐる世界の論調

- 国連安保理に対する印パの反論

- ◆資料 国連安保理決議に対するパキスタン国連大使の声明（抜粋、6月6日）

- ◆第5号（7月22日）

- 南アジアの平和・核軍縮にかかわるNGOコンタクト先（2）

- 核実験禁止に関するパキスタン提案をインドが拒否

- CTBT調印をめぐるかけ引き始まる

- 米中共同声明に対する印パの対照的な反応

- ◆資料 南アジア情勢に関する米中共同声明（全文、6月27日）

◆ 第6号（7月28日）

- ギャップは埋まらなかった米印会談
- C T B T をめぐるかけ引きに終始――米パ会談
- 米科学誌が印パの核実験を特集

◆ 第7号（8月4日）

- A S E A N 地域フォーラム（A R F）に合わせたN G O マニラ会議――米国の介入をどう考えるのか？
- 印パ首脳会談――結局対話が成立せず
- カシミールで大規模な戦闘。米、事故による偶発核戦争を憂慮

◆ 第8号（8月11日）

- インド政府、核ドクトリンを発表
- ベルペス・フードホイ（パキスタンの物理学者）「南アジアの核の混乱を生きのびる」（1）
- 核兵器化とパキスタンの女性たち（パキスタンの新聞の論説から）
- A S E A N 外相会議およびA S E A N 地域フォーラムの声明
- ◆ 資料（1）第31回A S E A N 外相会議共同声明（抄訳、98年7月25日）
- ◆ 資料（2）第5回A R F の議長声明（抄訳、98年7月27日）

◆ 第9号（8月17日）

- インドが強力なミサイルの開発を開始
- 印パ間の対話再開のきざし
- ペルペス・フードホイ（パキスタンの物理学者）「南アジアの核の混乱を生きのびる」

る」(2)

- ポール・レーベンサール（米国核管理研究所所長）報告（7月16日）から「核拡散の終焉か、それとも核不拡散の終焉か」
- プラフル・ビドワイ（インドのジャーナリスト）講演（8月1－2日、東京）から「正気への道」
- 印パ核実験をめぐる各国の動き（1998年8月6－11日）

▲[ページの先頭に戻る](#)

[米国公文書](#)

[国連文書](#)

[新アジェンダ](#)

[日本政府・自治体](#)

[ライブラリ](#)

[「ガイドライン法案」
速報](#)

[印パ速報](#)

[その他](#)

[「資料」の目次](#)

[ホームに戻る](#)

特定非営利活動法人

ピースデポ

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町1-30-27-4 日吉グリーネ1F

TEL : 045-563-5101 FAX : 045-563-9907

Email : office@peacedepot.org